

質問項目一覧

質問項目	回答形式
セクション1：基本情報	
1-1.貴学の学校種をお選びください（複数選択可）	国公立大学（4年制） / 私立大学（4年制） / 国公立短期大学 / 私立短期大学 / 通信教育部・通信制大学 / 高等専門学校
1-2.貴学の収容定員をお選びください。	1,000人未満 / 1,000人以上4,000人未満 / 4,000人以上8,000人未満 / 8,000人以上16,000人未満 / 16,000人以上
セクション2：生成AIガイドライン・ポリシーの策定状況	
2-1.生成AI活用に関する学内ガイドラインは策定済みですか。（策定中の場合は2-4へ、策定の予定がない場合は2-5へお進みください）	策定済み / 策定中 / 策定の予定はない
2-2.ガイドライン策定済みの場合、内容を修正したり、新たな内容を追加したりしましたか。	複数回行った / 1回行った / 行っていない / わからない
2-3.ガイドライン策定済みの場合、何を参照しましたか（複数選択可）	文部科学省「大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて（周知）」 / 文部科学省『「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」の作成について（通知）」 / 大阪大学「生成AI教育ガイド」 / 国内他大学のガイドライン / 海外大学のガイドライン / 一般社団法人日本私立大学連盟「大学教育における生成AIの活用に向けたチェックリスト」 / 公益社団法人私立大学情報教育協会「生成系AI使用ガイドライン」 / 一般社団法人ディープラーニング協会「生成AIの利用ガイドライン」 / デジタル庁「ChatGPT等の生成AIの業務利用に関する申合せ」 / UNESCOの出版物（ChatGPT and Artificial Intelligence in Higher Education: Quick Start Guide ほか） / その他
2-4. 策定済み・策定中の場合、ガイドラインは以下のどの対象に向けられていますか（複数策定されている場合は、複数項目をご選択ください）	学生向け / 教員向け / 職員向け / 教職員全体を対象 / 全学を対象
2-5.貴学でガイドラインを策定する際、どのような点が困難であると感じましたか（未策定の場合、どのような点が困難であると思われますか） （極めて困難 / 困難である / あまり困難ではない / 全く困難ではない）	生成AIとは何かを定義し説明すること / 技術進展の速さへの対応 / 学問分野の違いや多様な利用目的への配慮 / 倫理・法的・プライバシー問題などの整理 / 内部関係者間の意識・価値観の統一 / ガイドラインに関する外部情報・先行事例の収集 / ガイドライン策定に関わるリソース（時間・人材等）の準備 / ガイドラインが順守されるよう実質的に機能させること
2-6.貴学が策定する生成AI利用ガイドラインは、どの程度の拘束力を持たせるべきだとお考えですか。 （強く思う / そう思う / どちらとも言えない / そう思わない / 全く思わない）	学則と同様に、絶対的に順守すべきルールとすべき / 基本的には順守が求められるが、例外的な運用も許容されるべき / 参考指針として示す程度にとどめるべき / 特に拘束力は持たせず、個々の判断に委ねるべき
2-7.ガイドラインに違反した場合のペナルティは、どのように運用すべきだと考えますか。 （強く思う / そう思う / どちらとも言えない / そう思わない / 全く思わない）	明確な罰則規定を設け、厳格に運用すべき / 解釈の幅を残し、個々のケースごとに柔軟に判断すべき / 注意喚起や研修参加など、軽微な措置にとどめるべき / 既存の学則や罰則規程で十分対応可能であり、新たな罰則は不要 / ペナルティは一切不要
2-8.高等教育機関が定めるガイドラインは、どのような内容を含むべきだと考えますか（複数選択可）	法令順守、プライバシー漏洩、偽情報等の注意に際して注意すべきことから / 担当教員の指示の必要性、不正対応、評価方法の工夫等、授業運営に関すること / 生成AIの適切・効果的な利用法の紹介 / 生成AIの利用に関する能力開発・自己研鑽の奨励 / 生成AI利用環境の整備、AIリテラシー科目設置など、生成AI導入に関する将来的な方針 / 生成AIが抱える社会問題（特定企業への情報集中、情報バイアスなど）への配慮 / 情報学・情報教育関連学会・団体との連携関係 / 社会の状況に合わせたガイドラインの改訂方針 / その他（自由記述）
2-9.今後、高等教育機関における生成AIガイドラインについて、どのように策定されるべきだと考えますか（複数選択可）	文部科学省が共通ガイドラインを策定すべき / 各高等教育機関が固有の教育・運営方針のもとガイドラインを策定すべき / 学部・部局がそれぞれガイドラインを策定すべき / 授業・科目ごとに教員がポリシーを示すべき / 学生個人が主体的に生成AIの利用について判断すべき / 学会などが主導して学問分野ごとにガイドラインを策定すべき / UNESCOやOECDなどが主導して共通ガイドラインを策定すべき / 高等教育全体が協力して共通のガイドラインを策定すべき / 方針を共有する複数の高等教育機関が協力してガイドラインを策定すべき / その他（自由記述）
セクション3：導入支援および研修・サポート体制	
3-1.システム基盤の整備状況：貴学において、生成AIに関連するシステムを教学や教育・学習で活用する際の導入・開発形態について、当てはまるものをお選びください（複数選択可）	主として学内のリソースを用いて、独自に開発を行っている / 学外企業と共同で開発を行っている / 学外のサービス（例：Azure AI、Google Cloud Gemini API等）を学内システムに取り込んで活用している / ChatGPT Edu、ChatGPT PlusやMicrosoft Copilotなど、有料AIサービスのアカウントを学内で利用できるようにしている / 特に何もしていない / わからない / その他（自由記述）
3-2.「学外のサービス（例：Azure AI、Google Cloud Gemini API等）を学内システムに取り込んで活用している」と回答された方へ：具体的なサービス名をご記入ください。	自由記述
3-3.教員向けに、生成AIの利用を支援するために整備しているサポートや環境はどれに当てはまりますか（複数選択可）	研修会を実施している / AIツールの利用マニュアル作成や問い合わせ対応を行っている / 教員用の生成AIシステムを開発・提供している / 有料AIサービスのアカウント発行や費用補助を行っている / シラバスにおいてAI利用の方針を記載するよう教員に依頼・推奨している / 特に行っていない / 状況を把握していない / その他（自由記述）

3-4.職員向けに、生成 AI の利用をサポートするために整備している体制・取り組みはどれに当てはまりますか（複数選択可）	研修会を実施している / AI 導入やチャットボット導入に伴うマニュアルや FAQ を整備している / 職員向けの生成 AI システムを開発・提供している / 有料 AI サービスを利用するためのアカウント発行・費用補助を行っている / 特に行っていない / 状況を把握していない / その他（自由記述）
3-5.学生向けに、生成 AI の利用環境を整備したり、活用をサポートしたりするために行っていることはありますか（複数選択可）	学生向け研修会を実施している / 既存科目で生成 AI の活用方法を扱っている（または扱う計画がある） / 生成 AI に関連した新しい科目を設置している（または設置を計画している） / 学生用の生成 AI システムを開発・提供している / ChatGPT Plus など有料サービスを学生に割引または無償提供している / 経済的理由による生成 AI 利用格差を解消する支援を実施している / 多様な背景に応じた公平な AI アクセス環境を整備している（例：言語、障がい、学習スタイル、ジェンダーなど） / 特に行っていない / 状況を把握していない / その他（自由記述）
3-6.学内において生成 AI 利用状況の調査を実施する予定はありますか。	既に実施した / 今後実施する予定である / 現在のところ実施する予定はない / わからない
3-7.教育や学内業務において、生成 AI 導入やサポート体制の構築の際に感じる課題を教えてください（複数選択可）	技術進展の速さ / 予算の制約 / 時間・人的リソースの制約 / 内部関係者間の意識・価値観の統一の難しさ / 特になし / その他（自由記述）
セクション 4: 中等教育との連携	
4-1.中等教育における生成 AI 活用状況について、どの程度把握されていますか。	詳細に把握している / ある程度把握している / 限定的にしか把握していない / 全く把握していない
4-2. 中等教育における生成 AI 教育について、高等教育機関として期待する点はどこにありますか（複数選択可）	生成 AI の仕組みやリスクを理解する基礎教育を行うこと / 倫理的かつ批判的な活用方法（プロンプト設計、ファクトチェック等）を学ばせること / 各教科や総合における探究学習の中で応用的な活用を進めること / 経済的要因によるデジタルデバイドを是正する取組を行うこと / 今後の動向を見て判断したい / 特に期待はない / その他（自由記述）
4-3. 中等教育段階における生成 AI 利活用について、高等教育機関として懸念する点はどこにありますか（複数選択可）	中等教育における取組の格差が、生徒間の学力や学習意欲の格差を拡大させること / 生成 AI 利用経験の差が、高等教育機関入学後の不平等なスタートにつながること / 生成 AI の利用方法を十分に学ばないまま自由な利用が広がり、依存や学力低下を招くこと / 生成 AI 利活用に長けた一部の入学生に対して、高等教育側の教育環境が十分に対応できないこと / 中等教育段階での生成 AI の利活用が、基礎学力や批判的思考力の低下につながること / 現時点では具体的な影響を判断できない / 今後の動向を見て判断したい / 特に懸念はない / その他（自由記述）
セクション 5: 研究活動における生成 AI 活用	
5-1.貴学において、研究活動における生成 AI の利用状況をどの程度把握していますか。	研究者（教員・大学院生など）がどのように AI を使っているかを十分に把握している / 一部の研究者の利用状況のみ把握している / ほとんど把握していない / わからない
5-2.研究者が生成 AI を適切かつ効果的に活用するために、各高等教育機関はどのような支援体制を整備することが望ましいと考えますか。 （非常に望ましい / 望ましい / どちらとも言えない / あまり望ましくない / 全く望ましくない）	専門研修・勉強会の実施（研究特有の活用方法に特化） / AI リソースの提供・整備（クラウド環境、GPU、学内サーバ等） / 倫理・法的リスクに関する相談窓口 / 学内支援スタッフの配置 / 学外連携・共同研究の支援 / 研究費面のサポート / 個人の裁量に任せる（機関は最低限の情報提供にとどめる） / 特に支援体制は不要と考える
5-3.研究活動における生成 AI 利用のガイドラインは、どの主体が定めるべきだと考えますか（複数選択可）	国や行政機関（文部科学省、政府機関など） / 機関全体（学長や研究担当副学長など、中央組織が主導） / 学問分野ごとの学会や専門団体 / 学部・研究科・部局単位 / 研究室単位（指導教員や研究代表者が策定） / 研究者個人（研究者の自己裁量で判断すべき） / 特にガイドラインは不要
セクション 6: 今後の方針と展望	
6-1.今後、貴学として生成 AI の活用を拡大・改善していくために、最も重点的に取り組みたい施策は何ですか（複数選択可）	ガイドラインの整備・改訂 / 教職員向けの研修体制の充実 / 学生向けリテラシー教育の強化 / 分野別の専門科目や活用事例の拡充 / 高校との連携・連動プログラムの実施 / 経済力、ジェンダー、母国語に由来する AI 利用環境や情報格差の是正 / 特にそうした施策を行う予定はない
6-2.生成 AI は今後の高等教育において、どのような役割を果たすと考えますか。以下の項目について、最もあてはまるものをお選びください。 （強く同意する / 同意する / どちらとも言えない / 同意しない / 全く同意できない）	高等教育の社会的な価値をさらに高める / 教職員の業務効率化および授業設計支援につながる / 学生の学修の質を向上させる / 学生の思考力・判断力・批判的思考の低下リスクを高める / PC などと同程度に中立的なツールとして活用される / 高等教育機関の格差を広げる / 学生間の学修成果の格差を広げる / 必要ない、または有害と考える
セクション 7: 自由記述	
7-1.生成 AI の活用・導入に際して現在の課題や、国や専門的な教育系・情報系学会等に期待する支援・施策について、ご提案があればお聞かせください。	自由記述
7-2.その他、貴学での生成 AI 活用に関する取り組みや工夫、懸念点などがあれば、ご自由に記入ください。	自由記述